



● 第74回丹後織物求評会

キラリと光る職人の技

10/18 丹後織物工業組合特設会場において、第74回丹後織物求評会が開催され、組合員機業22業者から出品された126点もの作品を「表地部門」「裏地部門」「小物部門」「先染部門」「テキスタイル部門」の5部門に分けて審査が行われました。

与謝野町からは、小物部門から前満織物（岩滝）が製作した「モール縫取り 水玉」が中小企業庁長官賞、表地部門から株式会社ワタマサ（岩屋）が製作した「染帯 十字華紋」、テキスタイル部門から安田織物株式会社（後野）が製作した「THE KYOTO MEISTER COLLECTION" 禅」が経済産業省製造産業局長賞を受賞しました。

このほかに小物部門から株式会社ワタマサが製作した「帯揚 チャーチアート」「帯揚 菱 Coffee」の2点が京都府知事賞、裏地部門からは柴田織物（三河内）が製作した「洗える SHIDORI 襦袢 カーネーション」が京都織物卸商業組合理事長賞、さ



職人技で織られた展示作品に目を向ける来場者

らに小物部門から株式会社糸利（岩滝）が製作した「紋半襟 縫い取り 梅重ね」が日本絹人織物工業組合連合会理事長賞を受賞されました。

また、投票（リアル・WEB）により、あなた好み特別賞としてPARANOMAD（岩滝）が製作した「NOMADIC TEXTILE 003」、伊達男・きもの賞として江原産業株式会社（算所）が製作した「幾何学プレート」の2社2作品が特別賞を受賞されました。受賞されました皆さん、まことにおめでとうございます。

が良いとされる研究について説明。また、『日記をつける、手紙を書く、本を読む、歌を歌う、映画を見る、サークルに参加など、さまざまなかたちで人生を楽しんでいきましょう。誰もが迎える「老い」にネガティブな感情を持たず、楽しんで挑戦してください』と参加者全員にエールを送られました。

超高齢化社会が進む日本において、老いや認知症は、避けておることができない問題となっています。その解決策のヒントをさまざまな角度から提言をいただき、参加者からも「これからの人生の参考になった。高齢者の方々の話をもっとゆっくり聞いてあげたいという思いになった」「そろそろ辞めようと思っていた社会活動を続けた」といった感想が聞かれました。

講座の開講レポートの詳細は、町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



よさのみらい大学 YOSANO MIRAI UNIVERSITY



講師の岩原先生の話を受講者たち

9/30 京都女子大学発達教育心理学科の岩原あきひこ昭彦教授を講師に迎え、よさのみらい大学リベラルアーツ心理学講座「認知症予防の心理学—幸福な老いを目指して—」を岩滝保健センターで開催しました。

岩原先生は、認知症の早期発見・早期介入の重要性から、脳血管症認知症やアルツハイマー病の予防には、豊かな人間関係（社会参加・地域活動）

● Happy 150th Birthday

加悦谷の発展を支えた2号機関車



来館者に説明する会員（右）

11/10 今年は、旧加悦鉄道などで活躍した123号蒸気機関車（加悦鉄道2号機関車）が製造されて150年の節目の年。旧加悦鉄道加悦駅舎では、「Happy 150th Birthday—祝123号鉄道院蒸気機関車（加悦鉄道2号機関車）生誕150年—」が開催されています。

本イベントは、同駅舎を管理運営する特定非営利活動法人加悦鉄道保存会が企画。2号機関車の年表や写真、当時の汽笛音を再現するなど、来館者に魅力を伝えていました。来館者らは、同会の会員の説明にうなずきながら貴重な資料に目をとおしていました。

なお、このイベントは12月24日（日）までの土日（午前9時～午後5時／入館無料）に開催中です。ぜひ、ご来館ください。

● 与謝・滝・金屋 命の里 秋の大感謝祭

地域の恵みに感謝



オープニングの千本づきの様子

11/12 毎年秋の恒例イベント「与謝・滝・金屋 命の里 秋の大感謝祭」が道の駅シルクのまちかや周辺などで開催され、多くの来場者

● ビックこふんマルシェ

1周年の感謝をこめて



キッチンカーなど多くの出店でにぎわう古墳公園

10/28 古墳公園で開催されたビックこふんマルシェ。このイベントは、毎月第4土曜日に実施している「こふんマルシェ」を始めてから1周年を記念し、開催されたものです。

当日は早朝に雨が降り開催が危ぶまれましたが、イベントが始まるころにはさわやかな秋晴れとなり、家族連れなど約600人の来場者でにぎわいました。歌やダンス、タカやフクロウとのふれあい体験、スタンプラリー、各種ワークショップ、ハンドメイド物販、飲食など多くのブースが出店。また、ハロウィンに合わせて仮装する子どもたちも見られ、参加者たちは楽しいひとときを過ごしていました。

でにぎわいました。

道の駅周辺ではオープニングの千本づき（もちつき）に始まり、銭太鼓や宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部によるアカペラの披露、りんご皮むき競争などが行われました。また、地元の食を楽しむコーナーとして、販売やバザーコーナー、キッチンカーなどが多く出店し、来場者からは「与謝野町の秋を感じられる良いイベント」「この地域の恵みに感謝したい」などの声が聞かれました。

さらに、大江山運動公園体育館では、キッズダンスの発表やよ

さの着物大使選考会が行われ、初代よさの着物大使（いわまけいこ）さんが選ばれました。



キッズダンスの様子